

GREEN RADER

全農長野県本部情報
／グリーンレーダー

2023 VOL.527

04



令和5年度スタートにあたって

A-Policy【重点事業方針】

令和4年度 施設住宅課の取組み

A-Reports

- ・農業生産管理に関わるDX化の取組み 02
- ・304点の花々が冬を彩る
第52回信州フラワーショーウィンターセレクション 05
- ・姫路市の3つの小学校で花育教室 06
- ・JA全農長野が長野厚生連に医療用マスクなど贈呈 06

A-Board

- ・松本山雅FCのキャンプに信州パークを提供 07
- ・らくJAんお届け便 07

- ・令和5年度 機構・分掌・要員について 08
- ・令和5年度 全農長野県本部機構図 09

- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・今月のおすすめレシピ 10
- ・4月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

令和5年度スタートにあたって

全農長野県本部 県本部長 寫田 武司

花々の便りが届く季節となり、春の訪れとともに農作業が本格化するなか、長野県本部の令和5年度事業がスタートしました。

私たち職員一同、新たな気持ちで総合経済事業をとおし、組合員・JAの負託に応え、営農と生活向上への貢献と、JA営農経済事業発展に取り組んで参ります。

さて、長野県本部の令和4年度決算は、供給販売高で計画比96%となる2,571億円を見込んでおります。

昨年の長野県内は、大きな災害はなかったものの、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による情勢不安、世界的な人口増加に伴う食糧の需要増、地球温暖化が原因の干ばつや洪水、原油価格高騰による物価高や物流コスト上昇など、農畜産物の生産・販売はもとより消費動向にも大きな影

響を及ぼしました。

新型コロナウイルス感染症は、発生から3年が経過し、5月に感染症法上の第2類から第5類へ移行する方針が決定されるなど、新たなステージへと移りつつあります。

しかし、感染対策などの課題も多く、先行きが不透明な状況が今後もしばらく続くことが予想されます。

このような大変厳しい事業環境の中、会員JAの皆様の協力により事業結果ができましたことをあらためて感謝申し上げます。

さて、国際貿易交渉においては、東アジア地域包括的経済連携（RCEP）が発効され、さらに日中韓FTAも交渉が継続されるなど政府主導による自由貿易時代が加速し、今後ますます輸入農畜産物拡大による国内農業への影響が懸

念されます。

また、原油価格の高騰や、ウクライナ情勢などにより、あらゆる資源の国際価格が高騰しており、輸入に依存する日本の多くの原料・材料価格に影響し農家経営を著しく圧迫しています。

このような環境の中、長野県本部の令和5年度事業計画供給販売高は、2,688億円といたしました。本年度は「長野県本部中期事業計画（2022～2024年度）」の2年目となります。JAおよび関係機関との連携をより一層強化し、農業所得向上に向けた機能発揮に努めるとともに、本計画の確実な実践により会員JAの負託に応えて参ります。

特に持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持拡大やAI・IoTを活用したスマート農業の普及、販売力強化とコスト

低減による農家組合員の手取り最大化を目指すとともに、事業におけるDX化も進めて参ります。

また担い手対策やJA経済事業の活性化など、活気ある地域社会づくりにつながる事業を展開し、令和5年度事業計画達成に向けて職員一同粘り強く努力していく所存ですので、会員JAの皆様のおすすめのご支援ご協力をお願い申し上げます。



令和5年4月1日

長野県本部長 寫田 武司

農業生産管理に関わる DX化の取り組み

JA全農長野は、営農及び生産振興事業に関わるDX化の取り組みを進めています。2023年3月よりプロジェクトチームを設け、関係JAや中央会との協議に基づき、全体的なシステム概要について整理しました。

現在はその内容をベースに機能別の具体的な開発内容について、関係部署と連携・設計し、JAとの合意形成を進めています。

この度、米穀出荷管理システム及び情報発信システムが運用開始・稼働となりましたので紹介します。

■「米穀出荷管理システム」

米穀出荷管理システムは2023年2月より運用を開始しました。

現在紙ベースで行っている生産者とJA間の米の出荷契約を、令和5年度米より生産者のスマートフォンやタブレット端末の入力に移行することで、JAの組合員サービス向上等を目指しています。

まず試験的に県下2JAの一部生産

者分から運用を開始し、今後他のJAへも普及を推進する予定です。

生産者が端末入力した米の出荷契約情報を、(株)長野県協同電算の「JA米穀システム」に連動させる仕組みで、JA担当者の事務作業の効率化も視野に入れています。

また、今後このシステムの運用により、現在はJAから生産者に紙で送付しているJA米穀システムの出荷情報を、生産者の端末に配信できるサービスの開発も検討しています。

現在構想している栽培履歴や収穫乾燥状況等の栽培管理システムとの連携検討等、更なる高度化を進め、より良いサービスをJA・生産者に届けていきたいと考えています。

■「情報発信システム」

JAに向けて一元的に情報発信を行う「情報発信システム」は2023年4月に稼働を開始します。

当システムは、全農長野の各部署から発信した情報をJAで受信・管理ができ、本会及びJAが利用することに

より、迅速な情報の受発信と蓄積や閲覧が可能となります。

情報発信システムにより全農長野から次の情報を発信します。

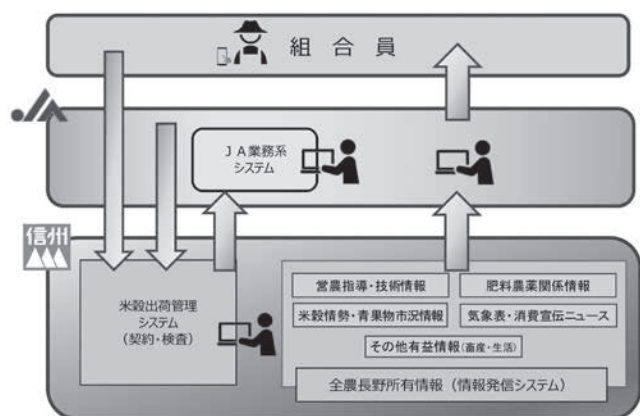
- ①栽培技術等の営農指導情報
- ②病害虫発生予察情報や農薬登録変更等の情報
- ③各品目の販売情勢や価格情勢
- ④各種お知らせやキャンペーン情報
- ⑤果樹の開花情報や生育肥大情報
- ⑥気象情報や災害対策情報等

JA担当者へ情報通知メールを配信することで、タイムリーかつ確実な情報提供及び情報受信が可能です。

全農長野の各部署より随時情報発信を行い、JAの要望等を踏まえながら、発信情報の検証と拡大を進めていきます。また、多くのJA担当者に活用いただけるよう機能拡充や活用提案を行って参ります。

今後の農業振興ならびに経済事業の利用拡大にあたり、DX推進は欠かせない要素です。DX化により付加価値の高いサービスを組合員・JAへ提供できるよう、引き続き開発を進めて参ります。

システム名称	主な効果
米穀出荷管理システム	①米穀出荷契約に関わる作業の簡略化（組合員） ②米穀出荷契約に関わる労働時間削減、デジタル管理による正確性の向上（JA） ③JAへのサポート機能強化、米穀データ管理の正確性の向上、事業拡大等（本会）
情報発信システム	①営農技術指導や資材情報等の各種情報の迅速な把握（組合員） ②営農技術指導や資材情報等の各種情報をデジタル発信をすることによるサービス向上（JA・本会） ③営農指導の強化・経済事業の拡大及び関係事務の効率化（JA・本会）



施設住宅課

令和4年度 施設住宅課の取組み

JA全農長野施設住宅課は、施主代行を基本として一級建築士事務所による専門性を発揮し、事務所などの一般建築から農業施設まで幅広い施設の設計・監理を行っています。また、コンサルタントとして農業施設の高度化・再編への対応並びに組合員ニーズに応える住環境改善事業に取り組んでいます。

■建築

JA支所などの事務所をはじめ、店舗や農機センター、資材倉庫まで多岐にわたる施設の設計・監理を行います。次年度以降も店舗や事務所などの大型物件が完成予定となっています。



JA 佐久浅間
佐久野沢支所中込店建設工事



JAながの 栄村営農指導拠点施設等建設工事



JA上伊那 美篤手良支所建設工事



JA中野市資材集中配送センター倉庫新設工事



A・コープファーマーズ佐久平店建設工事

■改修工事

多様化するニーズに対応するため、店舗のリニューアルや葬祭施設の模様替えなど既存施設の改修工事を行いました。また、省エネルギー化への取り組みとして、照明設備のLED化や空調設備更新などの設備更新工事を数多く行いました。



A・コープファーマーズ松代店改修工事



JAグリーン長野 JA 虹のホール稲里式場改修工事



JA佐久浅間 サエーラあさま安置室改修工事

■農業施設

系統組織として長年培ってきた農業



JA佐久浅間 野菜加工センター カット野菜製造設備工事



施設のノウハウを活かし、施設の高度化・効率化、環境に配慮した提案を行う



JA上伊那 美篤(4号) カントリーエレベーター増強工事



JA松本ハイランド すいか共選所選果機整備工事

■住宅事業

ＪＡとの一体事業として、組合員の土地活用を支援しています。また、高齢化に配慮したリフォームや、建物保全に係る白蟻防除等の住宅事業にも取り組んでいます。

■まとめ

施設住宅課では「2050年カーボンニュートラル」に向けたエネルギー消費量削減への取り組みを進め、ＪＡ・地域組合員の皆様のご要望に沿った施設づくりを続けて参ります。



JA佐久浅間株式会社アメック 長土呂若宮分譲宅地造成工事

304点の花々が冬を彩る 第52回信州フラワーショーウィンターセレクション

JA全農長野と全農長野県本部花き専門委員会は、2月9日(木)と10日(金)の両日、伊那市のJA南信会館で「第52回信州フラワーショーウィンターセレクション」を開催しました(Ⅱ表紙右上・右下)。新型コロナウイルス感染拡大の影響で3年ぶりの開催となった

今回は、花き生産者の技術研鑽と生産意欲向上に目的を絞り、一般公開は行わず出品物の審査と生産者やJA関係者のみの公開としました。

1月下旬の寒波の影響や生産に必要な燃料費が高騰する中、304点の出品物が集まりました。アルストロメリア、レンギョウ、ダリア、ア



農林水産大臣賞の授与

ネモネなど13種類が並び、会場いっぱい埋め尽くされた花々は生産者の高い技術による素晴らしいものばかりでした。最高賞の農林水産大臣賞はサマーセレクションに引き続き、(有)末広農園(JA上伊那)のアルストロメリア「ピンクティアラ」が選ばれました(Ⅱ表紙右下)。褒賞は全部で11賞、合計で31点が受賞しました。

信州フラワーショーは夏と冬の2回開催しており、今回は7月の開催を予定しています。

第52回 信州フラワーショーウィンターセレクション 入賞者名簿

(敬称略)

賞		品目名	品種名	氏名	JA名
農林水産大臣賞	1点	アルストロメリア	ピンクティアラ	有限会社 末広農園	上伊那
農林水産省農産局長賞	1点	アルストロメリア	ゴールド	酒井 弘道	上伊那
農林水産省関東農政局長賞	1点	アルストロメリア	ミストラル	中原 睦男	上伊那
全国農業協同組合 連合会長賞	2点	アネモネ	ミストラルプラス	伊藤 佐九次	信州諏訪
		アルストロメリア	ピンクティアラ	伊藤 哲	上伊那
長野県知事賞	4点	花木	ジャイアントレンギョウ	須田 民恵	佐久浅間
		アルストロメリア	ランカスター	小笠原 秀樹	上伊那
		アルストロメリア	ベルーガ	矢野 源彦	上伊那
		スタンダードカーネーション	バイパー	阿部 和博	佐久浅間
日本花き卸売市場協会会長賞	2点	アルストロメリア	グリーンワンダー	吉澤 栄二	上伊那
		アネモネ	ミストラルプラス	中村 邦雄	信州諏訪
フラワー産業議員連盟会長賞	1点	アルストロメリア	トレド	篠原 俊	信州諏訪
長野県農業協同組合 中央会長賞	6点	アルストロメリア	ゴールド	松澤 広	上伊那
		ランギュラス	ボンボンルナ	日下 裕之	上伊那
		アルストロメリア	パーティー	西尾 裕幸	上伊那
		アルストロメリア	ジーコ	山田 鉦二	松本ハイランド
		アルストロメリア	メロイエロー	赤羽 今男	上伊那
		アルストロメリア	ビビ	矢崎 深志	信州諏訪
全国農業協同組合連合会 長野県本部長賞	6点	アルストロメリア	マッサ	古畑 雅一	上伊那
		花木	ジャイアントレンギョウ	新津 文彦	佐久浅間
		アルストロメリア	レッドロック	一ノ瀬 博	上伊那
		アルストロメリア	チアリー	唐澤 勲	上伊那
		アルストロメリア	ゴールド	農事組合法人 らいふ	上伊那
		アルストロメリア	ミコノス	久保田 卓二	上伊那
伊那市長賞	2点	アルストロメリア	ピンクサブリイズ	永井 智	上伊那
		アルストロメリア	マッサ	日下 裕之	上伊那
フラワーショー運営委員長賞	5点	アルストロメリア	ベルーガ	倉田 良作	上伊那
		ダリア	ガーネット	松島 勤	みなみ信州
		アルストロメリア	ハニーソフィア	南部圭子	上伊那
		アルストロメリア	ハニーソフィア	小池 潤	信州諏訪
		花木	東海桜	柴田 正行	佐久浅間

姫路市の3つの小学校で 花育教室

J A全農長野大阪販売事務所は2月、(株)姫路生花と連携して姫路市内の小学生を対象に花育教室を開催しました(Ⅱ表紙左下)。新型コロナウイルスの感染対策を行い、林田小学校、大津茂小学校、御国野小学校の3校で241名の児童が参加しました。

授業では、全農長野の職員が長野県産花きの種類や栽培等について説明し、理解を深めてもらいました。



実演では、市場職員が講師となり、各児童が家族への感謝の気持ちを込めてアレンジメントを作成しました。アレンジ

メントは廊下に飾って観賞した後自宅に持ち帰りました。授業参観を行った学校もあり、参観に見えた保護者にも長野県産花きの魅力を伝えることができました。

児童からは「長野県に色々な花があつて、すごいと思った」「アネモネは花が大きくてきれい」「アルストロメリアという花の名前と、長野県が日本一と知った」などの感想をいただきました。

大阪販売事務所では今後も、卸売会社とも連携しながら花育をとおして花への関心と長野県への親しみを育むよう、活動に取り組んで参ります。



開催時期	対象小学校・学年	対象人数
2月13日(月)	林田小学校 4・6年生	52名
2月21日(火)・22日(水)	大津茂小学校 4年生	110名
2月27日(月)	御国野小学校 6年生	79名

J A全農長野が長野厚生連に 医療用マスクなど贈呈

J A全農長野はJ A長野厚生連の各病院に、医療用マスクなどの衛生用品を贈呈しました(Ⅱ表紙左上)。J A事業は地域の農業従事者たる組合員をはじめ、地域住民によって成り立っていることから、J A長野県として地域医療ならびに地域経済活動を支援する一助となることを目的としています。

贈呈した衛生用品はプロテクトマスク9万枚、ニトリルグローブ10万5千枚、アイソレーシヨンガウン2千枚、メディカルキャップ2千枚、除菌クロスワイド3万2千枚、除菌クロスワイド(詰替用)3万2千枚、除菌用アルコール(500ml入)300個です。

3月7日(火)にJ A長野県ビルで開いた贈呈式には、長野厚生連の洞和彦理事長と全農長野の髙田武司県本部長など、関係者5名が出席しました。

贈呈式で髙田県本部長は「昼夜を問わず地域医療やJ A役職員の健康管理に対応していただき感謝申し上げます。新型コロナウイルスの確認から3年が経過し、本年5月から5類に移行となりますが、

医療現場ではまだ大変な状況が続いています。共助の精神に基づき、わずかですが衛生用品を贈呈します」と挨拶をし、目録を渡しました。洞理事長は「衛生用品は病院の必需品であり、経営の助けになります」と感謝の言葉を述べられました。

支援物品は、佐久総合病院、浅間南麓こもろ医療センター、北アルプス医療センターあずみ病院、長野松代総合病院、北信総合病院、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター、南長野医療センター篠ノ井病院、南長野医療センター新町病院、富士見高原医療福祉センター

富士見高原病院、下伊那厚生病院の10病院に、7日から順次届けられました。



贈呈品の目録を手渡す髙田本部長(右)と洞理事長(左)

松本山雅FCのキャンプに 信州ポークを提供

JA全農長野は、シーズン前のサッカーJ3松本山雅FCのキャンプに信州ポークを提供し、J2昇格を食で支援しました。商品は2月1日に和歌山県、2月26日に鹿児島県、3月9日に愛知県のキャンプに10kgずつ（計30kg）届け、ホテルで調理されました。

初めてJ3で闘った昨シーズンは1年での昇格とはならず、今シーズンこそJ2昇格を期待し、ブラクティスウエアスポンサーとして信州の食をとおして応援します！（総務広報課）



© 松本山雅FC
今シーズンから指揮を執る霜田正浩監督



© 松本山雅FC
和歌山キャンプではローストポークに調理されました



© 松本山雅FC
料理を楽しむ選手 左から下川陽太選手、安東輝選手、鈴木国友選手

いつでもどこでも 簡単注文、自宅に お届け!

らくJANお届け便

rakujan otodokebin JA全農長野

安全・安心にこだわるエコープマーク品を中心に、加工食品、菓子、日用品、お米、冷凍食品をご自宅までお届けします。ご自宅や職場、外出先など、好きな場所で買い物を楽しくみてください。

新規会員にご登録で
初回のお買い物から使える!!

500pt プレゼント

お買い上げ金額100円(税込)につき1ポイント貯まります。
貯まったポイントは1ポイント=1円としてご利用いただけます。

5,500円(税込)以上 / ご購入で

送料無料

(一部商品除く)

らくJAN
お届け便
3つの
ポイント

- 01 安全・安心のエコープマーク品など多数品揃え
- 02 重いもの、かさばるものをご自宅までお届け
- 03 ホームページやLINEではお得なキャンペーン情報やエコープマーク品のおすすめレシピ等を発信

らくJANお届け便

利用方法

- 01 会員登録(無料)
- 02 らくJANお届け便でお買い物
※お支払い方法は、クレジットカードでのお支払いとなります。
- 03 ご自宅までお届け

詳しくはこちら!

らくJANお届け便 検索

<https://rakujan-otodokebin.com/>

商品
ラインナップ

随時追加予定

お問い合わせ **JA全農長野 生活部 生活課** ☎ 026-236-2257
(受付時間/9:00~17:00 土日祝日除く) ✉ zz_nn_takuha@zennoh.or.jp

令和5年度 機構・分掌・要員について

I. 基本的な考え方

1. J A長野県長期ビジョンに基づき、J A・県域および子会社の機能を最大限発揮し、部門別事業競争力の強化に取り組みとともに、J A経済事業の収支改善および農業所得の増大と地域の活性化に取り組み機構・分掌とする。

2. 中期事業計画（令和4～6年度）を実践するにあたり、部門間連携による営農生産業務の機能発揮と農業生産管理支援プラットフォームによるデジタルトランスフォーメーションをすすめる。

3. 生産事業においては農業基盤維持拡大のため、マーケットニーズに応じた生産提案をはじめ気象災害に対する施設化推進による生産振興をはかるとともに、信州産農畜産物の販売力強化と生産資材コスト低減による生産者手取りの最大化を目指す体制を構築する。生活事業においては、事業分野の選択と集中による競争力強化をはかり、ライフラインの充実を目指す体制を構築する。

4. 特に大規模生産者や農業法人等へのJ Aとの一体的な推進を強化するため、担い手推進センターによる事業推進体制を継続する。

5. 県本部総合経営管理の堅持ならびにコンプライアンス態勢の推進により、J Aグループ全体の経営基盤確立をすすめる。県域結集の拡大と成果を得る県本部の運営を行う。

6. 事業・経営環境の変化に対応する業務体制の確立ならびに専門的業務の持続性と業務効率性をはかるため、要員は多様な雇用形態による効果的な体制とする。

II. 機構・分掌の主な変更内容

1. 農業機械整備事業強化のため、県下2拠点目となる「堀金農業機械整備センター」を設置する。

2. eコマース事業強化のため、「販売開発課」業務分掌を分割し、eコマース戦略構築に関する業務へJ Aタウン運営を「生活部生活課」に、新規事業開拓ならびに付加価値商品開発に関する業務を「販売流通企画課」へ移管・統合する。これにより「販売開発課」は廃止する。

人事異動

全農長野県本部（令和5年3月10日付）

〈副本部長〉

▽長野県本部長付（副本部長 岡村達雄）

▽副本部長（営農・販売事業部門担当）（副本部長 長谷川孝治）

▽副本部長（管理・購買事業部門担当）（業務点検・コンプライアンス部長 高木昭彦）

〈部長級〉

▽業務点検・コンプライアンス部長

▽生産振興部長兼担い手推進センター長（管理部副部長兼総務広報課長 滝澤浩治）

▽生産振興部生産振興課（生産販売部専任部長（営業開発） 根津彰寛）

▽畜産酪農部（生産振興部長兼担い手推進センター長 岩崎直樹）

▽生活部付（業務点検・コンプライアンス部 池田洋一）

〈副本部長級〉

▽業務点検・コンプライアンス部（管理部付）吉村智之

▽総合企画部副部長兼改革推進・企画課長（生産購買部副部長兼生産資材課長 小池経夫）

▽総合企画部改革推進・企画課（生産販売部副部長兼果実花き課長 山岸順一）

▽総合企画部副部長兼DX推進課長（生産振興部副部長兼生産振興課長 北澤治樹）

▽管理部副部長兼総務広報課長（総合企画部改革推進・企画課長 飯島貴彦）

▽管理部副部長兼経理課長（同部同課長 山田 茂）

▽生産振興部副部長兼生産振興課長（東京販売事務所長 豊森俊行）

▽生産販売部副部長兼販売流通企画課長（大阪販売事務所次長 伊藤智康）

▽生産販売部副部長兼営業課長（同部同課長 小林 博）

▽生産購買部副部長兼農業機械課長（南信事業所営農資材課長 相沢光彦）

▽南信事業所次長兼営農資材課長（生産購買部副部長兼包装資材課長 森田陽一）

▽北信事業所次長兼営農資材課長（総合企画部副部長兼DX推進課長 島田忠之）

▽東京販売事務所長（生産販売部副部長兼米穀課長 小原和博）

▽管理部付

▽生活部付（生産購買部副部長兼農業機械課長 今井順一）

▽生活部付（南信事業所次長兼生活課長 大平 繁）

▽生産販売部米穀課長（同部同課長代理 大原宏之）

▽生産販売部果実花き課長（福岡販売事務所長 小林 強）

▽生産購買部包装資材課長（管理部経理課長代理 飯澤俊一）

▽生産購買部生産資材課長（北信事業所営農資材課長 青木哲也）

▽畜産酪農部畜産酪農課長（同部同課長代理 小林智一郎）

▽畜産酪農部畜産酪農課三岳牧場長（同部同課長 川合明彦）

▽生活部SS協同経営課長（同部燃料・ホームエネルギー課LPガス監視センター長 黒澤雅俊）

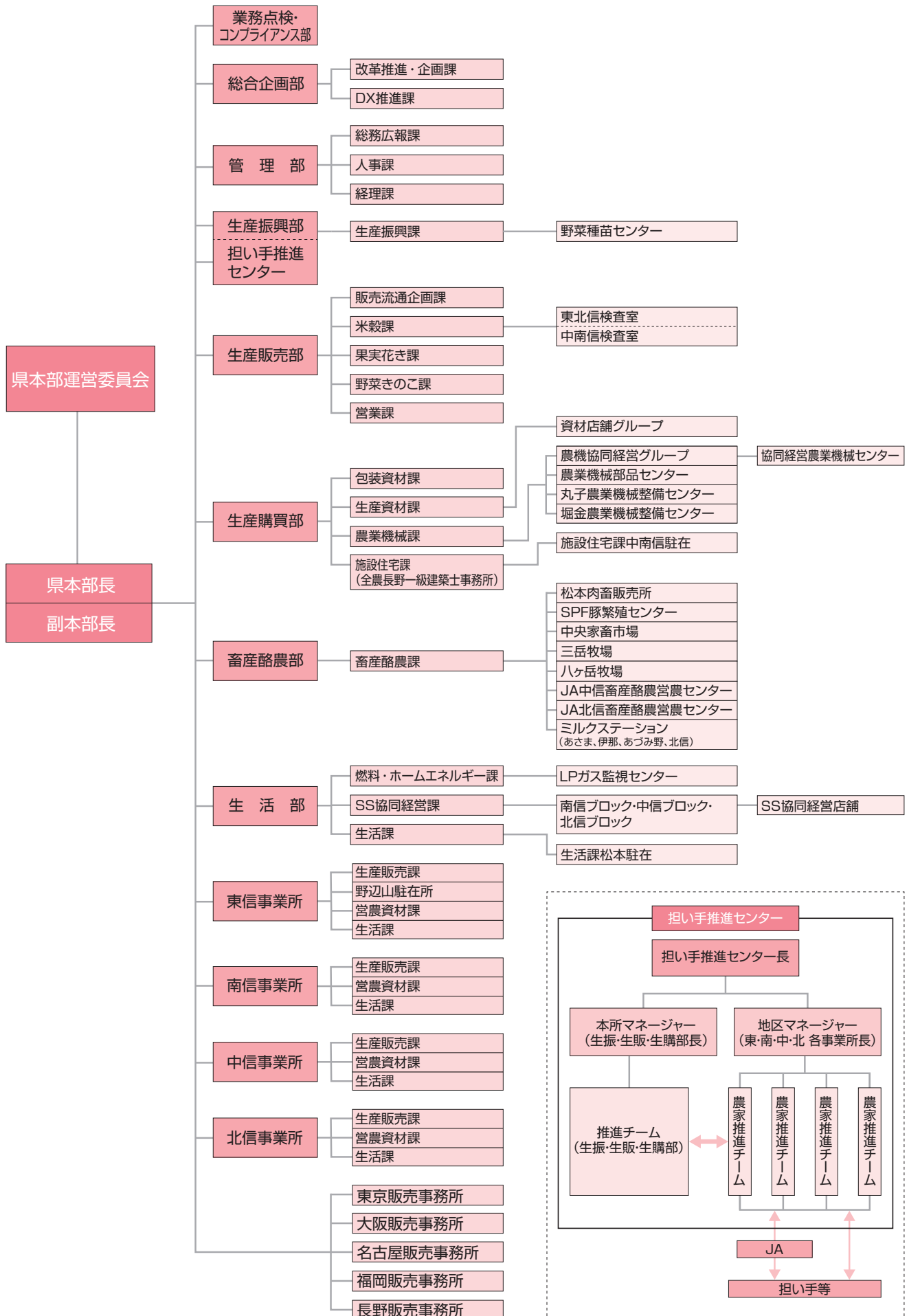
▽南信事業所生活課長（生活部燃料・ホームエネルギー課長代理 鷹野 毅）

▽大阪販売事務所次長（南信事業所生産販売課長代理 浅田道隆）

▽福岡販売事務所長（東信事業所生産販売課長代理 若月公一）

▽生活部付（同部SS協同経営課長 塚田文彦）

令和5年度 全農長野県本部機構図



JA全農長野の事業現況▶

令和4年度2月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		17	-	-
野菜種苗センター		154	88	89
生産振興部計		171	98	99
米	穀	14,958	93	97
果実花き		46,609	104	111
野菜きのこ		65,609	85	98
営業		13,164	85	100
生産販売部計		140,340	91	102
包装資材		7,845	96	108
生産資材		11,165	124	123
農業機械		5,111	92	97
施設住宅		6,195	127	169
生産購買部計		30,317	110	120
畜産酪農		28,367	100	97
三岳牧場		228	98	104
SPF繁殖センター		263	94	96
八ヶ岳牧場		188	80	90
畜産酪農部計		29,045	99	97
燃料・ホームエネルギー		25,588	102	101
SS協同経営		6,961	107	105
生活		8,303	103	99
生活部計		40,852	103	101
長野県本部計		240,596	96	103

(内部販売高含む)

4月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
4/26(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶり内 「暮らしの応援団」	農業機械課

今月のおすすめレシピ

“JA全農長野のキッチン”

えのきとサバ缶の ヘルシーミネストローネ



■材料(2人分)

- ・カットえのき.....1袋(100g)
- ・サバ缶(水煮).....1缶(190g)
- ・玉ねぎ(1.5cm角切り).....1/4(40g)
- ・キャベツ(1.5cm角切り).....2枚(80g)
- ・オリーブオイル.....大さじ1
- A. トマトジュース.....200ml
- A. 水.....100ml
- A. 固形コンソメ.....1個
- A. ニンニクすりおろし.....小さじ1
- A. ケチャップ.....大さじ2

■作り方

- ①大き目の耐熱ボウルに玉ねぎ、えのき、キャベツの順に重ね入れ、オリーブオイルを上からかけたらラップをして、600wで3分。
- ②ラップを一度外し、サバ缶(煮汁ごと)とAを入れよく混ぜ、再度ラップをして加熱する。(600wで5分)
- ③器に盛り、お好みでバルメザンチーズと黒コショウをふる。

ワンポイント
アドバイス

*サバ缶の煮汁を入れることにより旨味あふれるミネストローネになります。

グリーンレーダーの ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



編集後記

3月初旬より暖かい日が続き、早い春を迎え新年度が始まりました。毎年この時期は、新しい事にチャレンジしたいと強く思うと同時に、新年度に突入する緊張感で気が引き締まります。

昨年度は、ロシアのウクライナ進攻による情勢不安、原油価格高騰による物価高や物流コストと光熱費の高騰、新型コロナウイルス感染拡大等により農畜産物の生産・販売はもとより消費動向に大きな影響を与えた年でありました。このような状況を考えると気持ちも暗くなりがちですが、目の前の課題を一つ一つこなしながら前に進んでいきたいと思えます。新年度が健康で笑顔で過ごせるように願うばかりです。

さて、今年も我々が松本山雅の2023年シーズンが始まりました。初戦はアウェーで今年Jリーグに昇格した奈良クラブと対戦。見事2-0で勝利し素晴らしいスタートを切りました。今年も厳しい戦いは続くと思いますが、最後の最後まで力の限り応援していきます。行くぞJ2!

燃える山雅!

(一)



グリーンリーダー4月号（毎月発行） 2023年3月20日発行
 発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3 第527号
 発行人／高田武司 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



信州の農畜産物



ごつつあんです



JA全農長野は、長野県の農畜産物を通して御嶽海関を応援しています。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

